

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和6年9月6日(金)
 9:50～11:40
 場所 出雲市立斐川東中学校
 多目的ホール・1年生各教室
 指導者 埋蔵文化財調査センター職員2名
 斐川東中学校1年部教員6名

- 1 主題 出雲の歴史や古代の文化を知ろう
- 2 ねらい ○出雲市や島根県の遺跡や古墳について知ることで、地域の歴史や文化への関心を深め、ふるさとに対する誇りや愛着をもつ。
 ○はにわ作り体験を通して、古代の人々の生活や文化への理解を深める。
- 3 展開

時間	学習活動	指導者の支援
9:50～ 9:55 (5分)	1、学習の見通しをもつ。 ・本時のねらい ・講師紹介	・本時のねらいと流れを伝える。(中学校教員) ・講師を紹介し(中学校教員)、埋蔵文化財調査センターについて説明する(埋文センター職員)。
9:55～ 10:10 (15分)	2、出雲市や島根県の遺跡について学ぶ。	・学校周辺や出雲市内、島根県内の遺跡や古墳について、写真や出土品を見せながら説明する。(埋文センター職員) ・荒神谷遺跡との年代や出土品の違いなどについてもふれる。
10:10～ 10:20 (10分)	3、はにわについて学ぶ。	・はにわが作られた年代や作られた目的、当時使われていた材料などについて説明する。(埋文センター職員) ・はにわの種類や古代の人の工夫などを紹介する。 ・プリントを使いながら制作手順を説明する。 (・説明中に中学校教員が道具の準備をしておく。)
10:30～ 11:20 (50分)	(教室へ移動) 4、はにわ作り体験を行う。 (多目的ホールへ移動)	・生徒の様子を見回りながら、必要に応じて助言する。 (埋文センター職員・中学校教員)
11:20～ 11:30 (10分)	5、学習を振り返る。 (終了後、片付け)	・生徒数名の感想を聞く。(中学校教員) ・学習内容を振り返るとともに、今後のまとめの学習について説明し、見通しをもたせる。(中学校教員)

4 準備物

- 学校：プロジェクター、スクリーン、パソコン、延長コード、長机
- 生徒：筆記用具、新聞紙、水入れ
- 埋文センター：遺跡地図・資料、出土遺物、粘土板、加工具、制作手順のプリント